



御嶽山地域で出会える野鳥の魅力！ ● マイスター9期生 泉由希子が紹介します♪

御嶽山地域では、多くの種類の野鳥に出会うことができます。その理由は、標高差が大きく、里山から高山帯まで多様な環境が広がり、森林・高原・湖沼・渓流など、御嶽山の恵みを受けた自然の中で、それぞれの環境に適応した野鳥たちが暮らしているためです。王滝村のおんたけ湖や自然湖では、ヤマセミが身近に暮らしています。一般には頻繁に見られる鳥ではありませんので、間近で出会えたときの感動は格別です。自然湖では今年、4羽のヒナが巣立ったそうです(自然湖ネイチャーカヌーツアーガイドの情報より)。巣立ったばかりの幼鳥は近くまで姿を見せてくれることもあります。また、田の原では、亜高山帯に生息するホシガラスに登山をしなくても出会えます。幼鳥は「ニャーニャー」というちょっと珍しい声で鳴くことがあります。猫と間違えないでくださいね ♪鳥たちの営みを身近に感じられる御嶽山地域で、ぜひ野鳥との素敵な出会いをお楽しみください！(泉)



ホシガラス



冠羽が立派なヤマセミ

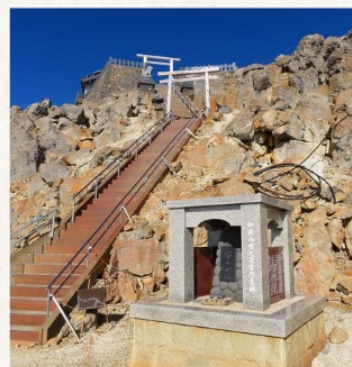
ぜひ探してみよう！

O.V.M.N.
イメージキャラクター
ひやま まほ泉マイスターの
紹介は今後を
お楽しみに！

御嶽山噴火災害から12年 ● 風化を防ぎ「生きた教訓」を語り継ぐ

荒涼とした草むらの中に伸びる国道。先日訪れた福島県双葉町や大熊町では、東日本大震災から15年を経ても、帰還が叶わず草木に覆われた家屋がいくつもありました。宮城県気仙沼市では、「ここから津波浸水地域」の看板や、校舎4階まで津波が押し寄せた旧宮城県気仙沼向洋高校(現伝承館)を見ることができます。伝承館では、当時産まれていなかった中学生や震災の記憶はない高校生が、語り部として訪れた人に当時の様子を伝えています。

一方、御嶽山の噴火災害から12年たった木曽地域では、街中で噴火の痕跡を見つけることはできません。剣ヶ峰でも慰霊碑等を除けば噴火当時の様子うかがい知ることはできません。だからこそ、ビジターセンターの存在や、噴火災害を語り継いでいく私たちの活動の重要性を再認識し、今後も活動していきたいと思います。(山本)



剣ヶ峰の噴火災害慰霊碑

イベント報告 ● プロジェクト『御嶽山のひみつ』

8月5日、夏休みイベントを開催しました。当日は、木曽郡在住の小中学生6名、保護者4名、マイスター8名で、田の原湿原と三笠山の植物や地質を見比べながら、御嶽山が78万年にわたって活動してきたひみつについて探っていきました。田の原湿原と三笠山、お隣同士の位置関係ですがそこにある植物、岩石、雰囲気は全く異なります。なぜ、そんな違いがあるのでしょうか。子どもたちは、実際に観察したり、実験したりしながら、その違いが生まれる理由を学びました。様々な姿を私たちに見せてくれる木曽の宝「御嶽山」これからは子どもたちと、火山の仕組みと恵みを学び、雄大な自然を感じ、大切にしていきたいと思います。(川上)



今後のイベント情報

● マイスターがブース出展

おてんき・ぼうさい教室

実験や体験で

おてんきやぼうさいを楽しく学ぼう！

日時 令和8年10月3日(日)09:30~15:30

会場 信州大学長野(教育)キャンパス

申込 長野地方気象台HPバナーより申し込み
小学生対象(募集定員500名)

費用 無料 問合せ 026-232-2738



お問い合わせ

御嶽山火山マイスター
ネットワーク (O.V.M.N.)長野県木曽郡木曽町三岳10491-12
木曽町御嶽山ビジターセンター
さとテラス三岳(月曜日休館)
0264-24-0197

ovm.network@gmail.com

https://ovm-network.com

Facebook

『御嶽山火山マイスターネットワーク』

instagram 『ontake_v.m.n』

X(旧Twitter) 『@omn_network』

マイスター通信第10号R8.9.10発行

編集：O.V.M.N.広報担当